

新型コロナウイルス対応の件（8） 5 / 26

令和2年5月26日

公益財団法人兵庫県剣道連盟

全剣連通知「稽古再開の今後の予定」について

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言がすべて解除されました。これをきっかけに多くの剣道愛好家が稽古再開を期待していると思いますが、全剣連より感染防止剣道用品の科学的データが得られるまで、今しばらく待っていただきたいと周知する趣旨の通知がありました。

令和2年5月25日

稽古再開の今後の予定

一般財団法人全日本剣道連盟（以下「全剣連」）は、これまで対人稽古の自粛をお願いしてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症問題が続く中、自粛要請も2か月に及んでいます。

しかしながら、剣道は日頃の鍛錬・稽古が重要であることから、全剣連としても適切な時期での再開を検討しており、再開条件の一つとして感染（飛沫の飛散）を防止する用具の開発等に努めておりましたところ、これら用具による実効性について、10日程度で医科学的見地からの結論が得られる見込みとなりました。

全剣連は、医科学的見地からの結論を確認してから、稽古再開の時期の目処及び稽古再開に当たってのガイドライン並びに今後の大会や審査会の方針について連絡しますので、ご承知おきください。

以上

兵庫県においても、市町村によって異なりますが、順次施設の利用再開が認められるようになってきております。しかし、「3密回避」「ソーシャルディスタンス」「広域イベント自粛」などの対策を取られなければ、対人稽古は自粛しなければなりません。感染防止の手立てを講じながら、対人稽古以外の稽古を工夫しなければなりません。よろしく申し上げます。